

## 豊郷小学校旧校舎群に残る「アサヒボイラー」が 2019年度「建築設備技術遺産」に認定されました!

国の登録有形文化財「豊郷小学校旧校舎群」に残る昭和鉄工株式会社製の「アサヒボイラー」が一般社団法人建築設備技術者協会の2019年度「建築設備技術遺産」に認定されましたので、お知らせいたします。

### 地下のボイラー室に残る昭和初期の鑄鉄製ボイラー

認定された「アサヒボイラー」は、当社が1936年（昭和11年）に製造し、当時の滋賀県犬神郡豊郷尋常高等小学校にて、全館暖房用のボイラーとして利用されていたものです。暖房用ボイラーは明治維新以降海外製が主流でありましたが、「アサヒボイラー」は発売後20年以上に渡り国産の鑄鉄ボイラーとして使われ続けた傑作機でした。建築設備機器は、機能の劣化とともに解体撤去されてしまいますが、これは戦時中の金属供出を逃れ、建物保存という幸運に恵まれて、建物とともに現存している戦前の貴重な建築設備遺産との評価を受け、認定に至りました。



地下室に残る自動給炭器付きのアサヒボイラー5型。  
昭和11年10月製造の銘板が貼られている。

#### 建築設備技術遺産 認定第32号

鑄鉄製ボイラー（自動給炭器付き）

昭和鉄工製「アサヒボイラー」1936年（昭和11年）製造

管理者：豊郷町教育委員会

所有者：滋賀県犬上郡豊郷町

製造者：昭和鉄工株式会社

#### ■建築設備技術遺産

建築設備技術者協会が認定する制度で、建築設備における空調、衛生、電気、搬送の4領域に関する技術と技術者の歴史的な足跡を示す事物・資料であり、建築設備技術の進歩、発展において重要な成果を示したものの、また、生活、経済、社会、地球環境、技術教育に貢献した、または当時を反映する建築設備技術をいいます。

### 豊郷小学校旧校舎群（滋賀県犬上郡豊郷町）

1937年、当校出身で当時「丸紅商店」の専務であった古川鉄治郎氏が私財を投げ打ち、ヴォーリス建築事務所の設計により建設、寄贈した。当時としては珍しい鉄筋コンクリート造の壮麗な校舎は、「東洋一の小学校」と呼ばれ、暖房設備など時代の最先端の技術を惜しみなく採用している。現在は、町立図書館や子育て支援センターなど町の複合施設として利用されており、校舎の見学も自由にできる。2013年には国の登録有形文化財に登録されている。



#### ○紹介サイト

一般社団法人建築設備技術者協会 ホームページ  
<http://www.jabmee.or.jp/>

検索

#### ○本件に関するお問い合わせ先

TEL:092-933-6391 総務部 尾島

FAX:092-933-6395

E-mail:showa@showa.co.jp

ホームページ: <http://www.showa.co.jp/>